

第3次横瀬町地球温暖化対策実行計画

令和2年度 温室効果ガス排出量実績報告書 [事務事業編]

横瀬町地球温暖化対策実行計画推進本部事務局

《実行計画の取り組み》

町では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、一事業者として自らの事務・事業により排出される温室効果ガスを率先して削減し、地球環境の保全に資することを目的として、平成27年3月に『第2次横瀬町地球温暖化対策実行計画』を策定し、平成27年度から平成31年度までの5年間で温室効果ガス5%削減を目標に掲げ、地球温暖化防止のための諸施策を進めました。その結果を踏まえて、令和2年3月に『第3次横瀬町地球温暖化対策実行計画』を策定しました。目標として、平成25年度排出量を基準とし、令和2年度から令和6年度の5年間で、温室効果ガス排出量を基準年度比13%削減することを目指します。

《令和2年度の結果》

令和2年度における町の事務及び事業活動に伴い排出した温室効果ガス総排出量は、649,526kg-CO₂でした。本計画の基準年である平成25年度の温室効果ガス総排出量970,243kg-CO₂と比較して、320,717kg-CO₂（33.06%）の削減となりました。

1 対象施設

本町が行う全ての事務事業及び出先機関等を含めた全ての組織及び施設を対象とし、前計画対象外であった指定管理制度の活用及び外部委託の実施による事業（指定管理施設）についても対象とします。

施 設 一 覧

施	設	名
役場庁舎		横瀬中学校
消防団器具置場		学校給食調理場
保育所		町民会館
児童館		歴史民俗資料館
活性化センター		町民グラウンド
観光トイレ		総合福祉センター
水質管理センター		道の駅果樹公園あしがくぼ
旧芦ヶ久保小学校		横瀬駅前観光案内所
横瀬小学校		

2 対象とする温室効果ガス

本計画において排出量削減の対象とする温室効果ガスは、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年10月9日法律第117号）第2条第3項に規定されている温室効果ガス7種類（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、六フッ化硫黄、三フッ化窒素）のうち、二酸化炭素とします。

3 活動量の比較

温室効果ガス排出に関する活動量は次のとおりです。

活動量比較

種別	単位	基準年度 (H25)	R2年度	基準対比(%)
電気	Kwh	1,295,244	1,369,621	5.74
A重油	ℓ	642	0	—
灯油	ℓ	51,140	28,391	△44.48
ガソリン	ℓ	8,815	6,180	△29.89
LPガス	ℓ	21,773	22,237	2.13
軽油	ℓ	1,115	618	△44.57

4 排出量の比較

令和2年度の温室効果ガス排出量は、次のとおりです。

電気の使用により排出された温室効果ガスは、排出量全体の約70%を占めています。

また、灯油・軽油使用による温室効果ガス排出量は、基準年度の約40%削減となっています。灯油については平成26年11月に役場庁舎の空調設備を入れ替えたことが、軽油については新型コロナウイルスの影響により消防団の活動が減ったことが大きく影響していると考えます。

排出量比較

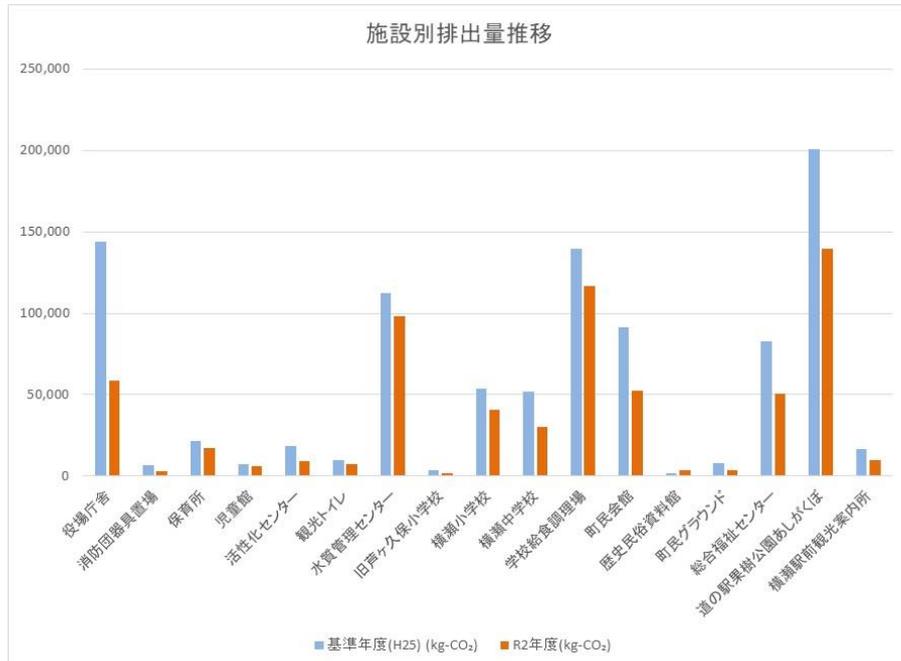
種別	基準年度 (H25) (kg-CO ₂)	R2年度 (kg-CO ₂)	基準対比 (%)	割合 (%)
電気	687,775	430,061	△37.47	66.21
A重油	1,740	—	—	—
灯油	127,311	70,680	△44.48	10.88
ガソリン	20,465	14,348	△29.89	2.21
LPガス	130,071	132,840	2.13	20.45
軽油	2,881	1,597	△44.56	0.25
合計	970,243	649,526	△33.06	100.00

5 施設別の比較

下表は、施設別に排出量を比較したものです。全体の結果は、基準年度(平成25年度)と比較して令和2年度は33.06%の削減となっています。17施設のうち16施設が基準年度と比較して排出量が減少しており、全体の結果としても排出量が減少しております。

施設別排出量比較

施設	基準年度(H25) (kg-CO ₂)	R2年度 (kg-CO ₂)	基準対比 (%)
役場庁舎	144,061	58,763	△59.21
消防団器具置場	6,834	3,260	△52.30
保育所	21,354	16,970	△20.53
児童館	7,393	6,252	△15.26
活性化センター	18,334	9,236	△49.62
観光トイレ	9,957	7,455	△25.13
水質管理センター	112,431	98,270	△12.60
旧芦ヶ久保小学校	3,790	1,605	△57.66
横瀬小学校	53,693	40,753	△24.10
横瀬中学校	51,680	30,065	△41.83
学校給食調理場	139,733	116,881	△16.35
町民会館	91,145	52,740	△42.14
歴史民俗資料館	1,793	3,853	114.87
町民グラウンド	8,041	3,572	△55.57
総合福祉センター	83,035	50,640	△39.01
道の駅果樹公園あしがくぼ	200,601	139,425	△30.50
横瀬駅前観光案内所	16,367	9,776	△40.27
合計	970,243	649,526	△33.06

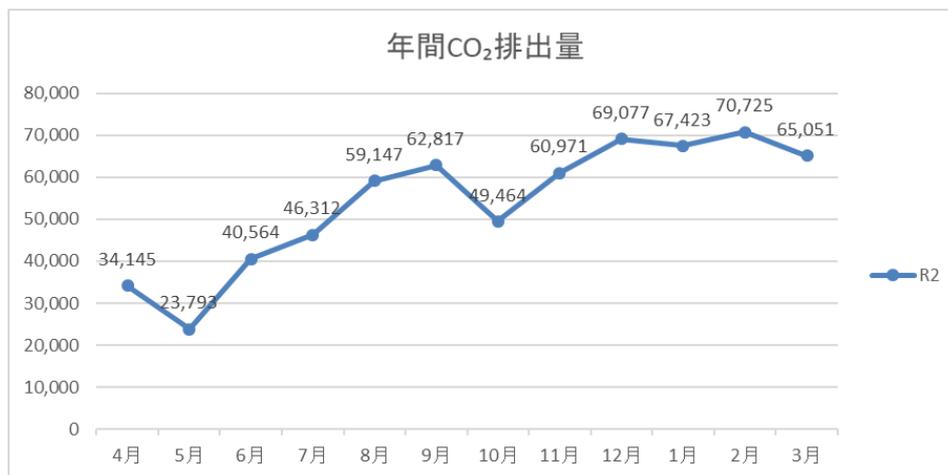


6 二酸化炭素排出量の推移

下表は、月別の二酸化炭素排出量を比較したものです。

暖房機器を使用する冬季に二酸化炭素排出量が増加する傾向にあります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による、小中学校の休校や公共施設の利用率の低下等により、4月・5月の二酸化炭素排出量が減少したと考えられます。

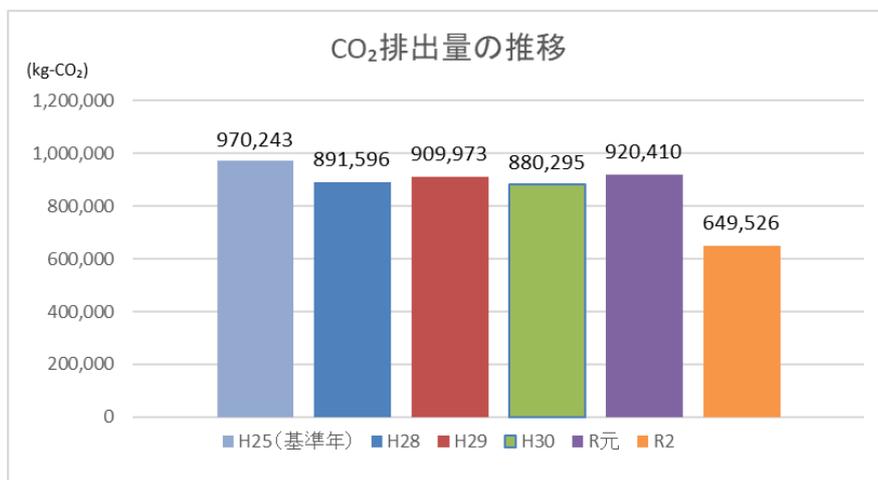


下表は、年度ごとに二酸化炭素排出量を比較したものです。

基準年度と比較してCO₂換算で320,717t-CO₂ (33.06%)を削減し、目標年度の削減目標に達しました。

温室効果ガス排出量比較

	H25 (基準年)	H28	H29	H30	R元	R2
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	970,243	891,596	909,973	880,295	920,410	649,526
CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	-	78,647	60,270	89,948	49,833	320,717
基準年度比	-	△8.11%	△6.21%	△9.27%	△5.14%	△33.06%
対前年度比	-	△8.11%	2.06%	△3.26%	4.56%	△29.43%



7 目標達成状況

令和2年度の温室効果ガス排出量の目標年度に対する進捗状況は次のとおりです。
計画の初年度にあたる令和2年度の結果は、基準年である平成25年度に比べ33.06%の削減となりました。

目標達成状況

種別	基準年(H25年度)	R2年度	目標(R6年度)
温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂)	970,243	649,526	844,110.54
基準年度 増減率(%)	—	△33.06	△13.00
目標値差違(%)	—	—	—

8 今後の温室効果ガス削減の取組

第3次計画の初年度となる令和2年度の結果は、令和6年度達成目標として設定していた数値を上回り、目標を達成することができました。達成要因としては、電力会社を変更し、再生可能エネルギー比率の高い電力を使用することでCO₂の削減につながったと考えられます。

今後も継続して温室効果ガス排出量を減少させるためには、空調機器の適切な温度設定の徹底や無駄な電気を使用しない等の職員の取組みの強化を図ることや、省エネルギー機器の導入、再生可能エネルギーへの転換についての検討をする必要があります。

参 考

◆電気排出係数の推移

電気の仕様に伴う電力排出係数は、国から公表される各電気事業者の基礎排出数（H27年度以前は実排出係数）を使用し、令和2年度は0.314kg-CO₂/kWh（秩父新電力株の実排出係数）を使用しています。

なお、基準年度（平成25年度）は、0.531kg-CO₂/kWh（旧東京電力株の実排出係数）を使用しています。

	単位	H25年度 (基準年度)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
東京電力エナジーパートナー(株)	Kg-CO ₂ /kWh	0.531	0.486	0.475	0.468	0.525	0.457
秩父新電力(株)		—	—	—	—	0.314	0.314